

<第41回総会:特別企画>

感染制御におけるデジタルトランスフォーメーションを考える

- 1.医療 DX で再設計する感染管理：感染対策マネジメント支援システム「ManGo」を活用した業務効率化とPDCAの質向上

吉田 葉子(サラヤ株式会社 メディカル事業本部)再生

- 2.AIはICT/ASTの仲間になれるかー感染対策DXの現状と課題ー

飯沼 由嗣(金沢医科大学 臨床感染症学)

- 3.感染対策DXの実装ーつながるデータ、AI、地域連携はICT/ASTをどう変えるかー

泉川 公一(長崎大学病院総合感染症科・感染制御教育センター)

- 4.見える化”の先へ：データ駆動型感染対策の現在地と未来

國島 広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

<招待講演>

気候変動と感染症の疫学

- 1.気候変動と感染症の疫学

橋爪 真弘(東京大学大学院 医学系研究科 国際保健政策学)

<シンポジウム>

シンポジウム2 地域で行う抗菌薬の適正使用に向けた取り組み

- 1.千葉県船橋市の抗菌薬適正使用に向けた取り組み

並木 真貴子(船橋市立医療センター 感染制御室・薬剤局)

- 2.加算連携の枠を超えた抗菌薬適正使用の取り組み

西村 さやか(高知県立幡多けんみん病院 AST)

- 3.杏林大学医学部附属杉並病院における地域で行う抗菌薬適正使用に向けた取り組み

井田 陽子(杏林大学医学部附属杉並病院 臨床検査部)

- 4.地域全体で支える抗菌薬適正使用ー臨床微生物検査技師による支援の可能性ー

武藤 沙起里(地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院 検査科)

- 5.地域で広まる薬剤耐性菌-抗菌薬適正使用の意義と課題

鈴木 里和

(国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 第1室)

シンポジウム7 ICT・ASTにおける多職種から見た検査技師は？進め微生物検査技師よ

- 1.市中病院 ICT・ASTにおける微生物検査技師のありがたみと医師からの期待

谷崎 隆太郎(市立伊勢総合病院 総合診療教育研究センター)

- 2.ICT・ASTにおける多職種から見た検査技師：薬剤師の立場からの考察

浜田 幸宏(高知大学医学部附属病院 薬剤部)

- 3.その名は“片山” 浅ノ川 ICT・AST で無双する
～感染管理認定看護師が求める臨床検査技師像～
江波 麻貴(医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院)
- 4.微生物検査技師が変える抗菌薬選択
米田 真也(岩手医科大学 総合診療医学講座)
- 5.ICT・AST における臨床微生物検査技師の実践的参画と今後の課題
鷲尾 洋平(日本医科大学付属病院 臨床検査部)

シンポジウム 13 感染症と AI: 感染症と AI の未来と感染対策業務への活用

- 1.感染対策業務における生成 AI 活用と AX：現場実装の可能性と課題
福家 良太(仙台駅スマートクリニック)
- 2.現場から創る AI 時代の感染対策
太田 悦子(大阪大学医学部附属病院感染制御部)
- 3.すでに訪れている未来と感染対策業務への応用
山口 征啓(コネクト合同会社)

シンポジウム 18 病院環境の清掃について考える

- 1.ICN と清掃従事者の協働による環境清掃の最適化―感染リスクに応じた層別化とコスト削減の両立―
植村 明美(京都大学医学部附属病院)
- 2.在宅での環境整備の現状と課題～訪問看護の立場から～
石川 美千留(医療法人相馬病院 訪問看護ステーションそうま)
- 3.清掃業界における感染対策教育
森山 由紀(一般社団法人横浜メディカルグループ)

シンポジウム 27 求められる医療従事者のワクチンとその現状

- 1.医療関係者ワクチンの国際的潮流と日本での実装課題
田中 健之(長崎大学 熱帯医学研究所 臨床感染症学分野)
- 2.医療従事者および学生を対象としたワクチン情報の一元管理
田内 久道(愛媛大学医学部 附属病院 感染制御部)
- 3.小児病院における、抗体価とワクチン歴管理
新庄 正宜(防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部)
- 4.市中急性期病院における医療従事者へのワクチン接種の管理と対応
松原 啓太(社会医療法人三栄会ツカザキ病院 小児科)

シンポジウム 30 どこまでやるの？居住系施設での感染対策

1.どこまでやるの？居住系施設での感染対策～呼吸器感染症～

家入 裕子(山口県立大学 看護栄養学部 看護学科)

2.居住系施設における腸管感染症対策―「どこまでやるか」をどう判断するか―

萩野 貴志(NTT 東日本札幌病院 感染管理推進室)

3.住居系施設における疥癬アウトブレイク対策

三浦 美穂(久留米大学病院 感染制御部)

4.病院における AST の常識はどこまで通用するのか

笹原 鉄平(自治医科大学附属病院 感染制御部)

シンポジウム 31 サーベイランスを活用した質改善活動

1.プロセスサーベイランスを活用した質改善活動とリンクワーカーとの協働

近藤 奈津子(JA 北海道厚生連旭川厚生病院 感染対策科)

2.包括的サーベイランスを活用した CLABSI 対策 ― 組織で取り組む質改善の実践

藤井 昭人(大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部)

3.CAUTI 低減への多段階の質改善活動：リンクナース参画による形骸化打破

甲斐 美里(済生会熊本病院 TQM 部 感染管理室)

4.手術部位感染（SSI）サーベイランスを活用した質改善活動

佐野 由佳(広島大学病院 感染制御部)

<パネルディスカッション>

パネルディスカッション 1 「手指衛生」、現在地と向かうべき方向

1.手指衛生の遵守状況とモニタリング法

森野 誠子(独立行政法人 国立病院機構 下志津病院)

2.手指衛生に関する認識具合と意識改善のための教育

中村 造(東京医科大学病院)

3.当院における WHO 多角的戦略を用いた課題整理と改善策

増谷 瞳(慶應義塾大学病院 感染制御部)

4.手指衛生の改善は、臨床ガバナンスと組織マネジメントで達成する

堀 賢(順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学)

パネルディスカッション 4 医療機関と保健所の効果的なネットワーク構築

1.「院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業」事業班の活動経過から

豊田 誠(高知市保健所)

2.VRE 感染症対策をきっかけとした感染症対策ネットワークの構築

神戸 千佐(和歌山市保健所)

3.医療機関と保健所の効果的なネットワーク構築に関する考察

—感染管理担当者の実践経験を通して—

枡田 美加子(橋本市民病院)

パネルディスカッション9 隣の感染対策～就業制限編～

1.「就業制限を守る」と「現場を維持する」の狭間で

—327床中小病院における感染対策の葛藤—

橋本 渚(社会福祉法人 恩賜財団大阪府済生会千里病院)

2.職員の感染症罹患時における就業制限判断と院内運用の実際

藤井 昭人(大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部)

3.複数の県立病院間で異動がある職員の就業制限基準統一への取り組みと現実

大井 美香(宮崎県立宮崎病院 感染管理科)

<ベーシックレクチャー>

ベーシックレクチャー4 今こそ基本に立ち返ろう！麻疹の基本的な感染対策

1.今こそ基本に立ち返ろう！麻疹の基本的な感染対策

須田 江津子(埼玉医科大学総合医療センター)

ベーシックレクチャー23 こう使ってます、新しい抗菌薬：耐性機序に基づく適正使用と実臨床での位置付け

1.こう使ってます、新しい抗菌薬：耐性機序に基づく適正使用と実臨床での位置付け

西村 翔(兵庫県立はりま姫路総合医療センター 感染症内科)

<委員会企画>

委員会企画1 医療現場における注射薬無菌調製の課題とガイドンス作成の目的

1.注射薬無菌調製の適正化に向けた薬剤師の役割—非無菌的環境でのエビデンス構築を中心に—

佐道 紳一(長崎みなとメディカルセンター 薬剤部)

2.病棟・外来における注射薬調製の現状と課題—非無菌的環境下での安全な調製に向けて—

富田 学(東邦大学医療センター大森病院 感染管理部)

3.保険薬局における注射剤調製の現状

由良 温宣(有限会社 由良薬局)

4.医療現場における注射薬無菌調製の課題とガイドンス作成の目的

中川 博雄(長崎大学病院薬剤部)

委員会企画 5 予防接種におけるリテラシーとリスクコミュニケーションについて考える

1. リスクコミュニケーション総論ー予防接種をめぐる主体とリテラシーを考えるー

奈良 由美子(放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム)

2. 予防接種従事者の教育の重要性について

神谷 元(三重大学大学院医学系研究科)

3. 予防接種推進におけるリテラシーと対話の統合：海外の教育プログラムと国内の最新知見から

齋藤 あや(新潟大学大学院医歯保健学研究科)

4. 指定発言

中島 一敏(大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)